

令和5年3月27日

交通事故概況

令和5年2月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(2月末計上数(確定数))

1 令和5年2月中の交通事故発生状況

区分\内容	2月中		2月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	806	140	1,574	159
死者数(人)	3	-5	16	1
傷者数(人)	964	177	1,877	207

[過去10年、2月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年	
												10か年		5か年
2月中死者	8	10	8	12	4	10	4	10	8	8	8	8	3	
2月末死者	16	19	16	21	10	27	9	17	16	15	17	17	16	
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—	

都道府県別(2月中)

順位	1	2	3	4	20
都道府県名	大阪府	愛知県	千葉県	福岡県	埼玉県
死者数	12	10	9	8	8

都道府県別(2月末)

順位	1	2	3	4	5	5	7
都道府県名	大阪府	千葉県	茨城県	神奈川県	福岡県	埼玉県	北海道
死者数	26	24	19	18	17	17	16

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 2月中の死亡事故(死者3人)

- 事故類型別：正面衝突が2人(66.7%)、人対車両が1人(33.3%)
- 道路別：市町村道が2人(66.7%)、高速道路が1人(33.3%)
- 地形・道路形状別：市街地直線、非市街地直線、カーブが各々1人(33.3%)
- 発生時間別：6～8時、12～14時、20～22時が各々1人(33.3%)
- 第一当事者年齢別：30歳代運転者2人(66.7%)、50歳代運転者が1人(33.3%)
- 第一当事者違反別：操作不適が2人(66.7%)、安義その他が1人(33.3%)
- 死者年齢別：30歳代が2人(66.7%)、高齢者の死者が1人(33.3%)、

(2) 2月末の死亡事故(死者16人)

- 事故類型別：
 - ・ 出会い頭が6人37.5% (うち一時不停止が4人66.7%、信号無視2人33.3%)
 - ・ 正面衝突が4人25.0% (うち操作不適が3人75.0%、安全速度が1人25.0%)
- 道路別：
 - ・ 道道が10人62.5% (うち出会い頭が5人50.0%、車両単独が3人30.0%)
 - ・ 市町村道が3人18.8% (うち人対車両が2人66.7%、正面衝突1人33.3%)
- 地形・道路別：
 - ・ 市街地交差点が6人37.5% (うち出会い頭が3人50.0%、車両単独が2人33.3%)
 - ・ 非市街地直線が4人25.0% (正面衝突が2人50.0%、人対車両、車両単独が各々1人25.0%)
- 発生時間別：
 - ・ 18～20時が5人31.3% (うち車両単独が2人40.0%)
 - ・ 12～14時が4人25.0% (うち出会い頭が3人75.0%)
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 40歳代運転者による死者が7人43.8% (うち出会い頭が4人57.1%、人対車両が2人28.6%)
 - ・ 高齢運転者による死者が4人25.0% (うち車両単独が3人75.0%、出会い頭が1人25.0%)
- 第一当事者違反別：
 - ・ 一時不停止が4人25.0% (出会い頭が4人100.0%)
 - ・ 操作不適が3人18.8% (正面衝突が3人100.0%)
 - ・ 前方不注意が3人18.8% (車両単独が3人100.0%)
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が5人31.3% (うち車両単独が2人40.0%)
 - ・ 30歳代の死者が4人25.0% (うち正面衝突2人50.0%、出会い頭、車両単独が各々1人25.0%)
- シートベルト着用者：

自動車乗車中の死者13人中、シートベルト非着用者は2人(15.4%)であり、2人ともシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

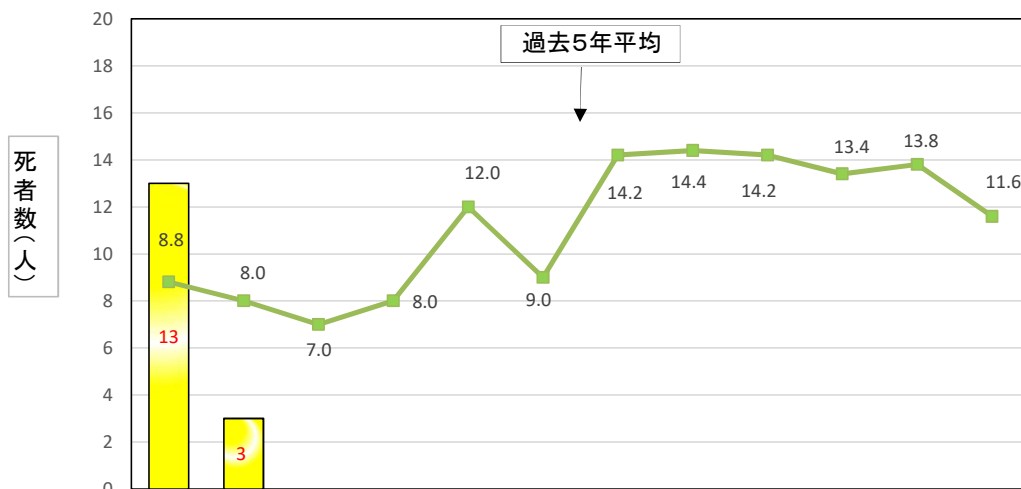
(3) 方面別発生状況

2月中の死者は札幌方面が2人(66.7%)、旭川方面が1人(33.3%)となっている。
2月末の死者数は札幌方面が11人(68.8%)、旭川方面が4人(25.0%)、釧路方面が1人(6.3%)となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比	方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比		
														2月中	全道
	札幌方面	598	106	2	-5	718	136		札幌方面	1,166	114	11	1	1,395	157
	函館方面	54	9		-1	69	17		函館方面	97	10		-2	118	13
	旭川方面	71	8	1	1	81	2		旭川方面	130		4	1	150	-15
	釧路方面	55	10			60	9		釧路方面	130	30	1	1	143	34
	北見方面	28	7			36	13		北見方面	51	5			71	18

(4) 月別発生状況の推移

2月中の死者は3人で過去5年平均8.0人を下回っている。
2月末の死者数は16人で過去平均16.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3											16
年間累計	13	16											
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(5) 都道府県別死者

2月中は大阪府が12人で最も多く、次いで愛知県が10人、千葉県が9人となり、北海道は3人で20位となっている。
2月末は大阪府が26人で最も多く、千葉県が24人、茨城県が19人、神奈川県が18人で北海道は16人で7位となっている。

区分\都道府県	大阪	愛知	千葉	福岡	埼玉	茨城	神奈川	東京	広島	兵庫	全国
2月中死者数	12	10	9	8	8	7	7	7	7	6	171
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	6	6	6	10	-
前年比	4	2	1	2	-2	3	-1	-3	4	2	-5
増減率(%)	50.0	25.0	12.5	33.3	-20.0	75.0	-12.5	-30.0	133.3	50.0	-2.8

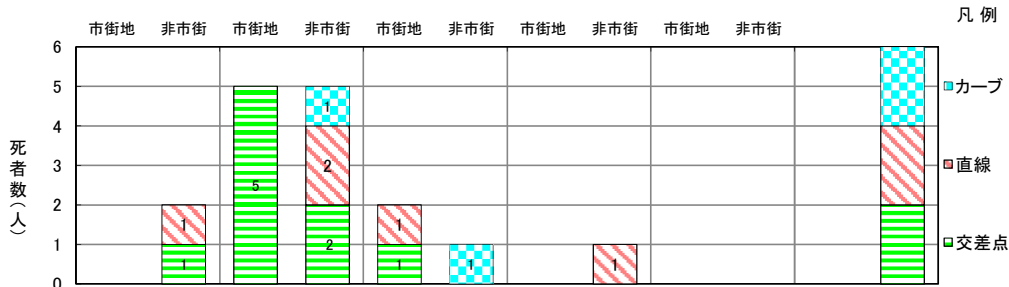
区分\都道府県	大阪	千葉	茨城	神奈川	福岡	埼玉	北海道	東京	愛知	兵庫	全国
2月末死者数	26	24	19	18	17	17	16	16	16	15	388
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	7	7	10	-
前年比	13	7	8	-3	7	0	1	-4	-5	4	29
増減率(%)	100.0	41.2	72.7	-14.3	70.0	0.0	6.7	-20.0	-23.8	36.4	8.1

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が10人(62.5%)で最も多く、次いで市町村道が3人(18.8%)となっている。

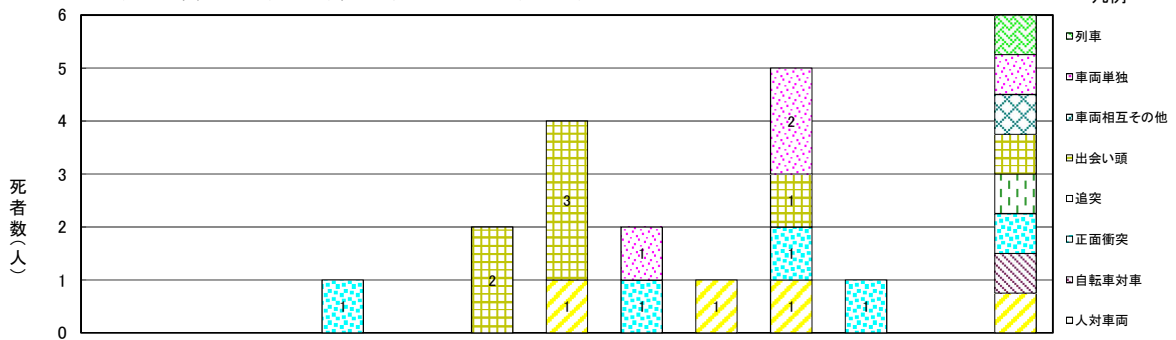
- ・ 道道は市街地交差点が5人(50.0%)、非市街地交差点、直線が各々2人(20.0%)
- ・ 市町村道は市街地交差点、直線、非市街地カーブが各々1人(33.3%)となっている。



区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	2	10	3	1		16
構成率(%)	12.5	62.5	18.8	6.3		100.0
過去5年構成率	54.8	20.2	14.3	6.0	4.8	100.0

(2) 時間別

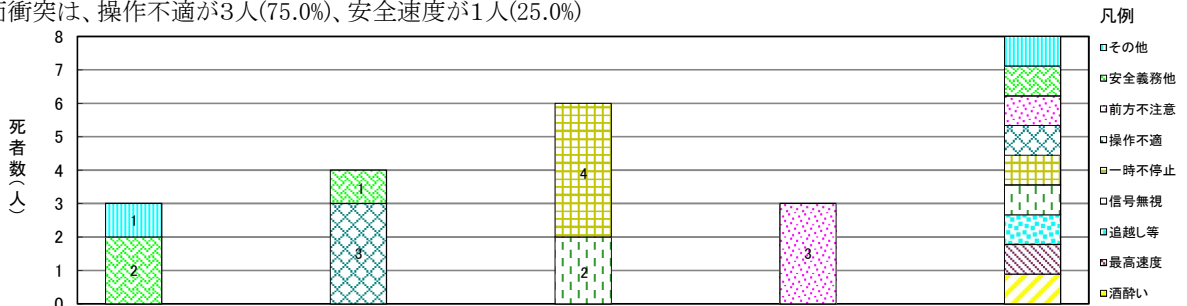
- ・ 18～20時が5人(31.3%)で最も多く、次いで12～14時が4人(25.0%)となっている。
- ・ 18～20時は車両単独が2人(40.0%)、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人(20.0%)
- ・ 12～14時は出会い頭が3人(75.0%)、人対車両が1人(25.0%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数				1		2	4	2	1	5	1		16
構成率(%)				6.3		12.5	25.0	12.5	6.3	31.3	6.3		100.0
過去5年構成率	2.4	1.2	6.0	7.1	13.1	13.1	14.3	11.9	13.1	10.7	2.4	4.8	100.0

(3) 事故類型別

- ・ 出会い頭が6人(37.5%)、正面衝突が4人(25.0%)となっている。
- ・ 出会い頭は、一時不停止が4人(66.7%)、信号無視が2人(33.3%)
- ・ 正面衝突は、操作不適が3人(75.0%)、安全速度が1人(25.0%)

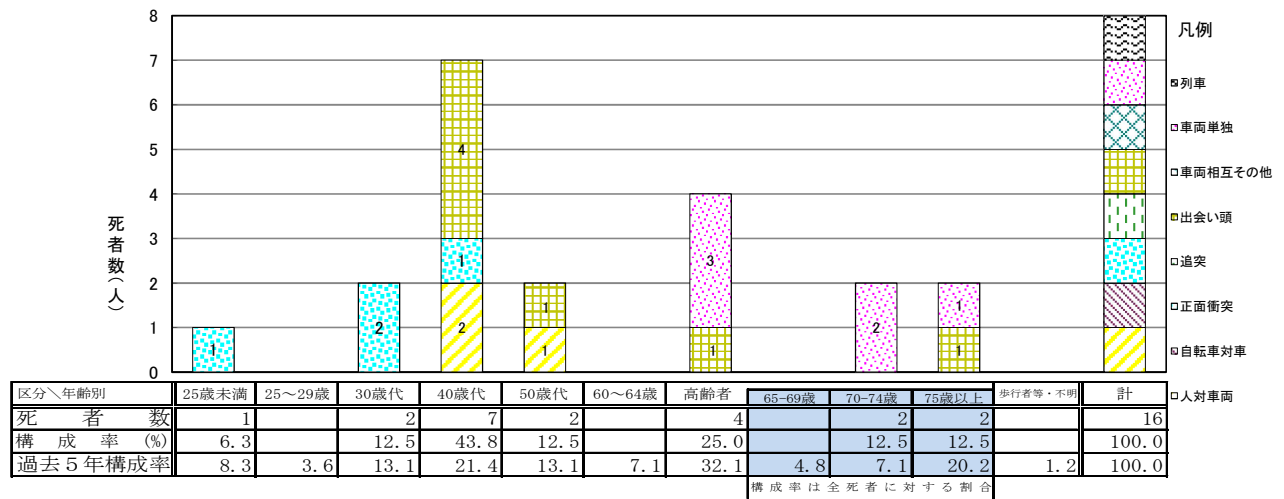


類型別 区分\	人対車両	自転車 対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	3	0	4	0	6	3	0	16	
構成率(%)	18.8	0	25.0	0	37.5	18.8	0	100.0	
過去5年構成率	26.2	1.2	34.5	3.6	10.7	16.7	1.2	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

40歳代運転者によるものが7人(43.8%)、高齢運転者が4人(25.0%)となっている。

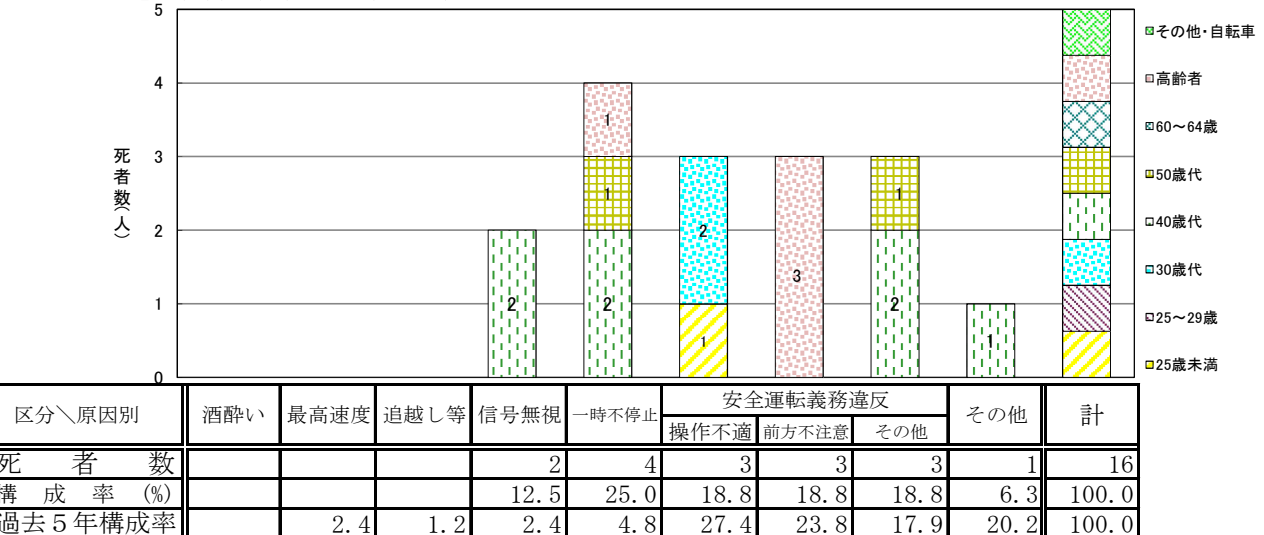
- ・40歳代運転者は出会い頭が4人(57.1%)、人対車両が2人(28.6%)
- ・高齢運転者は車両単独が3人(75.0%)、出会い頭1人(25.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

一時不停止によるものが4人(25.0%)、操作不適、前方不注意によるものが各々3人(18.8%)

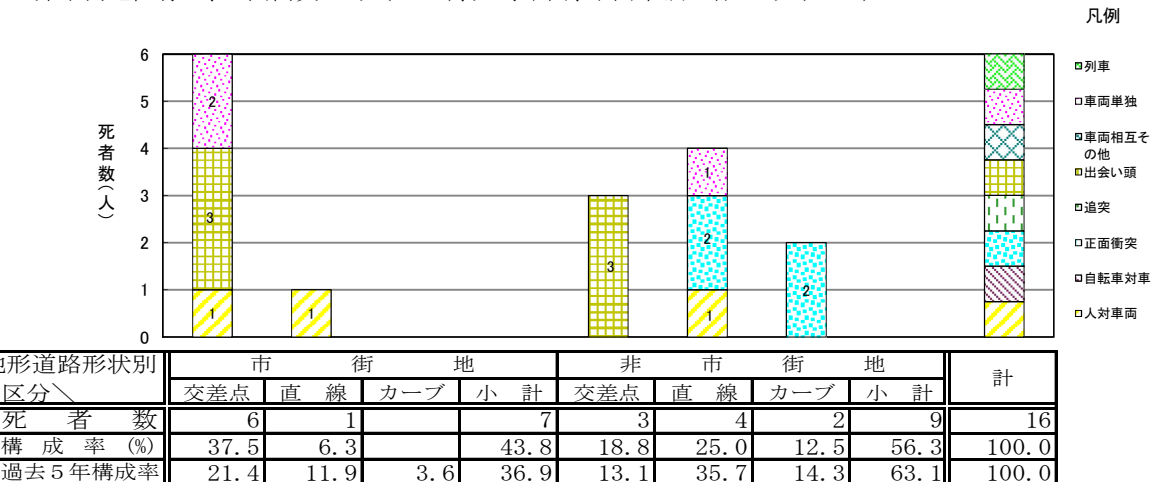
- ・一時不停止は40歳代運転者が2人(50.0%)、50歳代運転者、高齢運転者が各々1人(25.0%)
- ・操作不適は30歳代運転者が2人(66.7%)、若年運転者が1人(33.3%)
- ・前方不注意は高齢運転者が3人(100.0%)



(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が6人(37.5%)で、非市街地直線が4人(25.0%)。

- ・市街地交差点は、出会い頭が3人(50.0%)、車両単独が2人(33.3%)
- ・非市街地直線は、正面衝突が2人(50.0%)、人対車両、車両単独が各々1人(25.0%)

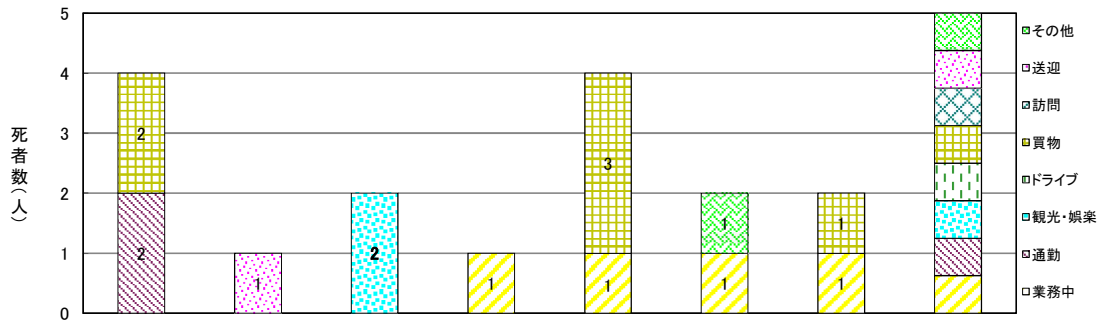


(7) 曜日別

日曜日、木曜日が各々4人(25.0%)となっている。

- ・ 日曜日は、通勤と買物が各々2人(50.0%)
- ・ 木曜日は買物が3人(75.0%)、業務中が1人(25.0%)

凡例



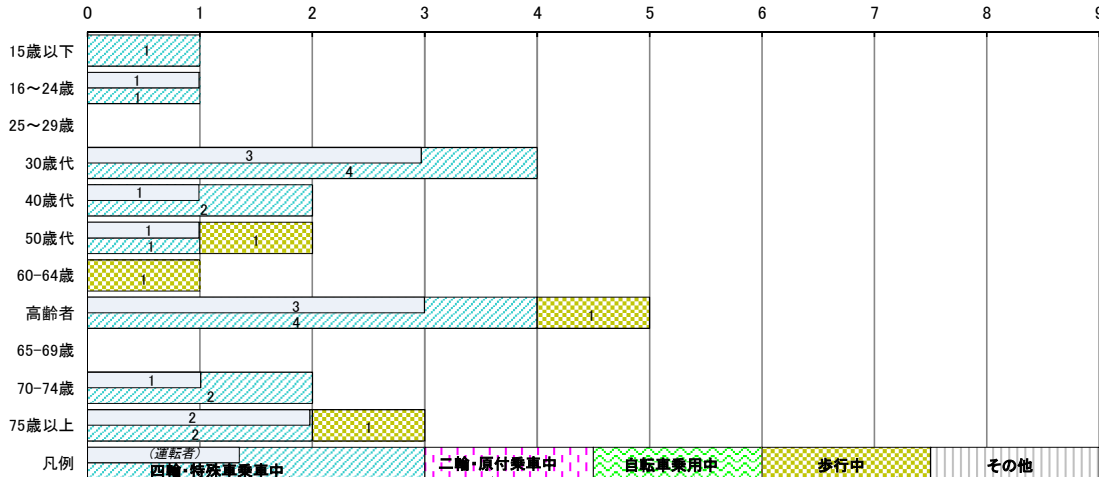
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	4	1	2	1	4	2	2	16
構成率 (%)	25.0	6.3	12.5	6.3	25.0	12.5	12.5	100.0
過去5年構成率	10.7	11.9	16.7	8.3	15.5	22.6	14.3	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が13人(81.3%)で最も多く、歩行中が3人(18.8%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、30歳代、高齢者が各々4人(30.8%)、40歳代が2人(15.4%)
- ・ 歩行中は50歳代、60～64歳、高齢者が各々1人(33.3%)
- ・ 死者の年齢層別では、高齢者が5人(31.3%)で、うち75歳以上が3人(60.0%)となっている。

死者数(人)



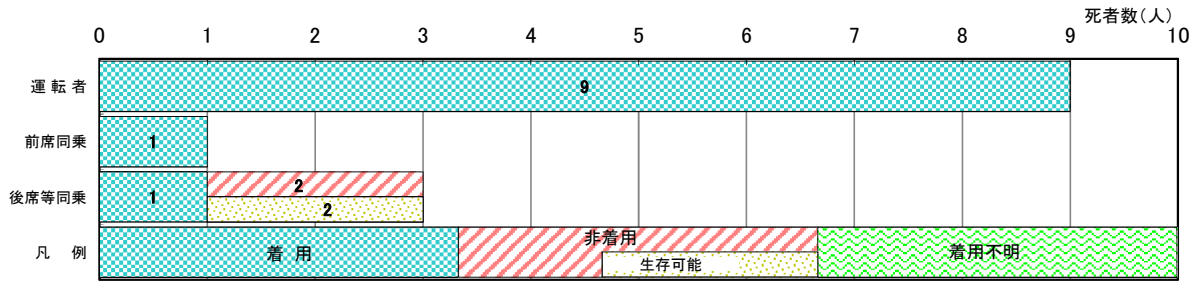
状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	計	構 成 率	5年構成率
								(%)	(%)
15歳以下	死者数	1	0	0	0	0	1	6.3	1.2
16～24歳	死者数	1	0	0	0	0	1	6.3	4.8
25～29歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	2.4
30歳代	死者数	4	0	0	0	0	4	25.0	4.8
40歳代	死者数	2	0	0	0	0	2	12.5	9.5
50歳代	死者数	1	0	0	1	0	2	12.5	14.3
60～64歳	死者数	0	0	0	1	0	1	6.3	4.8
高齢者	死者数	4	0	0	1	0	5	31.3	58.3
65～69歳	死者数	0	0	0	0	0	0	0	11.9
70～74歳	死者数	2	0	0	0	0	2	12.5	8.3
75歳以上	死者数	2	0	0	1	0	3	18.8	38.1
計	死者数	13	0	0	3	0	16	100.0	
	構成率	81.3			18.8		100.0	—	—
	過去5年構成率	66.7	1.2	1.2	28.6	2.4	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者13人中、シートベルト非着用者は2人(15.4%)となっている。
非着用者2人は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席	同乗者 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可	
令和4年	13	11	9	1	1	2			2	2
構成率(%)	100.0	84.6	81.8	9.1	9.1	15.4			100.0	

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、30歳代、40歳代が各々1人(50.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	高齢者の内訳			その他・不明	計
							65~69歳	70~74歳	75歳以上			
ベルト着用		2	3	1	1		4		2	2		11
構成率(%)		18.2	27.3	9.1	9.1		36.4		18.2	18.2		100.0
ベルト非着用			1	1								2
構成率(%)			50.0	50.0								100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者2人の損傷加害部位をみると、座席、車内他が各々1人(50.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用			4	1		1	1		1	3		11
構成率(%)			36.4	9.1		9.1	9.1		9.1	27.3		100.0
ベルト非着用									1	1		2
構成率(%)									50.0	50.0		100.0
運転者												
構成率(%)												
同乗者									1	1		2
構成率(%)									50.0	50.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和3年度及び4年度(ここでは令和3年11月~令和5年2月)の発生は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和4年度	死亡事故	13	6	13	3		35
	冬型事故		4	3	2		9
	スリップ		4	1	2		7
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						
令和3年度	死亡事故	15	10	7	8	2	42
	冬型事故	1	6	4	1	1	13
	スリップ	1	5	4			11
	視界不良				1		1
	わだち		1				1
	その他						